

環境県民局 資料	No. 11
-------------	--------

令和5年5月29日 課名 環境県民局循環型社会課 担当者 課長 石田 内線 2950

令和5年度災害廃棄物処理に係る研修の実施について

1 要旨・目的

近年多発する気象災害（台風、大雨等）や、地震等の大規模災害において発生する災害廃棄物の処理について、処理の主体となる市町の現場対応力の向上及び関係機関との連携強化を目的とする研修の実施について報告する。

2 現状・背景

県及び市町は、災害廃棄物処理計画及び初動マニュアルを策定し、それに基づき災害廃棄物対策を行うこととしている。例年、対応能力の維持強化を図るため、災害廃棄物処理において重要な初動対応等についての研修を実施している。

3 概要

(1) 実施主体

県が県内23市町及び廃棄物業界団体の協力を得て実施

(2) 実施時期

ア 災害廃棄物処理の初動体制（組織・人員体制、支援要請、仮置場の選定・確保等）に関する研修：令和5年5月24日（水）（実施済）

イ 仮置場の設置・運営に係る模擬訓練：令和5年10月～11月頃

(3) 場所

ア 災害廃棄物処理の初動体制に関する研修：オンライン

イ 仮置場の設置・運営に係る模擬訓練：賀茂環境センター（東広島市黒瀬町）

(4) 実施内容

ア 対象者

県、市町及び廃棄物業界団体（広島県資源循環協会、広島県清掃事業連合会）職員

イ 内容

(ア) 災害廃棄物処理の初動体制に関する研修

- 近年の災害対応状況を踏まえたタイムライン留意事項の確認
- 市町初動マニュアルを用いた演習（情報収集、収集・運搬体制の確保、支援要請等）
- 各市町の仮置場候補地選定状況、課題及びその対応策の検討・確認

(イ) 仮置場の設置・運営に係る模擬訓練

- 仮置場レイアウトの検討（廃棄物の配置、車両動線の検討等）
- 住民向け広報資料の作成（仮置場開設期間の検討を含む）
- 仮置場の設置・運営（看板設置、動線の確保、廃棄物の受付・積み下ろし・搬出等）

4 その他

(1) 初動体制に関する研修で使用するタイムライン

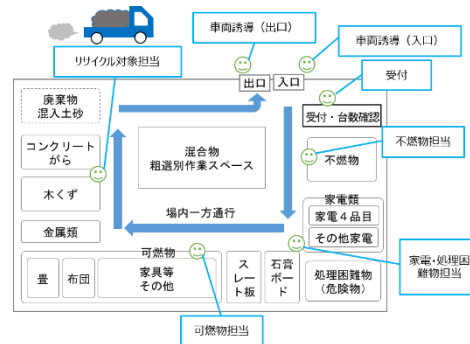
表1 発災時の初動対応タイムライン

	発災	1日後	2日後	3日後	1週間	2週間
1. 組織体制の 確立 (p. 4~p. 5)		①職員の安否及び参集 状況の確認				
		②組織体制の検討				
		③庁内の連携				
		④他組織との連携				
2. 情報収集・報 告 (p. 6~p. 8)		①被害状況の把握				
		②情報の共有・報告				
3. 支援要請・支 援受入 (p. 9~p. 11)		(1) 支援メニ ューの確認				
			(2) 支援が必要な項目の確認			
			(3) 支援要請			
				(4) 支援の受入		
4. 一次仮置場 の確保・運営 (p. 12~p. 16)		(1) 場所の選定				
		(2) 管理体制・レイアウト等の決定				
		(3) 住民への周知				
		(4) 搬入開始				
					(5) 一次仮置場か らの搬出開始	

(2) 仮置場の設置・運営に係る模擬訓練の様子（令和4年度）



仮置場レイアウトの検討



レイアウトのイメージ



仮置場の設置



仮置場の運営